

6年2組学級通信 切磋琢磨」=磨き合う30名の仲間たちN036より

戸外に出て遊ぼう 子どものあそびの価値」

子どもたちは遊びを通して色々なことを学び、身に付けていっています。それでは、子どもの遊びの持っている価値としてどのようなことが考えられるでしょう。

1 身体や運動の発達をうながす

専門家より「最近すぐ転んでしまう子が増えている。しかも、ちょっと転んだだけで大きな骨折事故を起こしてしまう。身体や運動を調整する力とか、機敏に動く能力とか身体のやわらかさなどが低下してるのが原因ではないか。」と指摘されてから、もうかなりの時間が経っています。直近の調査でも、体位は向上しているが、体力や運動能力は著しく劣っていると、新聞で報じていました。これは、生活環境の激変によって戸外の体を使った運動や遊びが劣化しているからです。

調整力、機敏性、秋雨発緑、柔軟性などの身体能力は、子どものときでないと訓練しにくいものだと言われています。

子どもの遊びは、身体と運動の発達を促進させるのです。体を動かして、よく遊ぶたくましい子に育てましょう。

2 社会性の発達をうながす

仲間と遊ぶことによって、子どもは色々な社会的資質を身に付けていきます。まず、対人的な技術です。仲間と遊ぶときには、相手との意見を調整しなくてはけません。もし自分勝手をしていたら、遊びの輪の中へ入ってけません。それで仲間はずれにされてしまうこともあるのです。

次に、自分の責任を果たさなければならないということがあります。自分の受け持ったポジションの責任を果たさなければ、仲間からの信頼は得られません。また、ルールを守らなければならないということもあるでしょう。ルールを守らず反則する人は、遊びをこわしてしまいます。ルールを守り、フェアプレーに徹する精神は、重要な社会性の一面です。

遊びが複雑になってくると、いろいろ役割が必要になってきます。そんな場合、いつもよい役ばかりとりたがる子は、その遊び集団から疎まれるようになるので、どうしても自分のわがままを抑えていくようになります。さらに自分の感情を抑え、他人を許す態度も遊びの中でつくられていきます。チームワークの基本は、仲間の失敗を自分の問題として許し、仲間の痛みを分かち合うところから産まれてくるものだからです。

このように、子どもたちは遊びの中で対人関係の在り方を学び、社会性を身に付けていっているのです。

3 望ましい性格がつくられる

子どもの心の緊張は、遊びによって取り除かれます。日頃の欲求不満は、遊びの中で力一杯体を動かし、遊びに熱中することによって解消されます。これは、子どもがいろいろな問題を起こさないための安全弁の働きをしていることになりますから、よく遊ぶ子どもには、ゆがんだ性格はできないとさえいえるのです。

仲間と心をつなげて、目的に向かって努力する中で、自分勝手な自己中心性から脱出していくようになるのです。

学校や地域に子どもの歓声が響き渡る健全な遊びを取りもどしたいです。